

こんにちは 庄内町議会

です



No.43
12月議会号
27.1.20

目指せ
火災ゼロ

おれに
まかせろ

- 余目保育園民営化 ————— 〈議案〉 2
- 町民と語る会 ————— 4
- 町政を問う ————— 〈一般質問〉 8
- 常任委員会 ————— 〈中間報告〉 16
- 議会見学・感想文 ————— 〈立川小6年生〉 18

平成27年
出初め式

原点にかえり より身近な議会に



議長 富樫 透

新年明けましておめでとうございます。皆さんにおかれましては気持ち新たに年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、議会も昨年6月に改選を迎え半年以上が経過しました。公の仕事とは、太陽の光のようになどにも平等に届かなければいけない。一方で、それぞれの特長を生かし、独自性を伸ばすことが求められています。

議会は、まちづくりのチェック、提言、提案立法に関わっています。本町議会でも、町民と語る会や広報などの広報・広聴活動、常任委員会強化による課題の調査研究等を行っています。また、平等性や公平性はもちろんですが、現状を把握した上で最良の政策づくりを考えています。

16人の議員それぞれが役割と責任を自覚し、議会活動、議員活動をします。また、まちづくりの課題を把握し、地域課題解決のために一丸となって取り組みます。

町民の皆さんからも議会に対し、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

要約筆記

「ばんけの会」の協力で「やまびこ」

本町議会の特徴である要約筆記を、12月12日実施しました。今回の議会から議場に大型モニターが設置され、要約筆記の画像も同時に映るようになりました。

当日は、栄寿大学の皆さん13人と、社会福祉関連の皆さん13人一般の方9人が傍聴に来てくれました。発言、答弁が「わかりやすかった」と好評でした。

- 要約筆記ばんけの会
菊池みづ子(代表)
齋藤志保子
菅原 千佳
- 要約筆記の会やまびこ
柿崎 明子(代表)
日下部恵子



生声ひろば

次代の議員たちに期待をよせて



早坂 清さん(幸町・余目)

庄内総合高生徒と公益文科大学生の12人の議員による初議会を傍聴することができました。質問内容は、町の総合計画・商工振興はじめ、若者目線から見た世代間交流など新たな感覚の提案もありました。総合高校の再編統合については、この町から高校が無くなることへの心配を、その対策も含めて町長に質問していました。

私は、平成生まれの若者が、立派に成長していることに感激しました。



学生たちを議員に任命

発行人

- | | |
|-----------|-------|
| 議長 | 富樫 透 |
| 議会広報常任委員会 | |
| 委員長 | 五十嵐啓一 |
| 副委員長 | 齋藤 秀紀 |
| 委員 | 上野 幸美 |
| 委員 | 齋藤 勇悦 |
| 委員 | 鎌田 準一 |
| 委員 | 國分 浩美 |

請願採択

限界だ 農業継続の危機 米の需給安定対策に関する意見書 (意見書 全員賛成で可決)



写真提供：JA あまらめ
今年の米価は…

提出先

内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣

平成26年12月17日
財務大臣 外務大臣
農林水産大臣
経済再生担当大臣

1 26年産米にかかる緊急対策
本県農業及び稲作農家の経営はもとより、地域経済に与える影響に鑑み、需給と経営安定に向け、過剰米及び米価下落の緊急対策を講ずること。

2 米の需給と価格の安定対策
米の需給と価格の安定を図るため、政府備蓄米の柔軟な買入・売渡の仕組み等の措置により、豊凶等による米

意見書・前文略

請願者

JA庄内たがわ・JAあまらめ

3 米価変動に対応した経営安定対策

米価の下落と低迷が懸念される中、生産調整に取り組む全ての稲作農家が、将来にわたって安定的な稲作経営を展望でき、経営の安定化により創意工夫を生かした経営を展開できるよう、米価変動に対応しうるナラシ対策の改善、収入保険制度の早期創設等、万全な経営安定対策を構築すること。

請願採択

認めてJA自己改革 農協改革に関する意見書 (意見書 全員賛成で可決)

提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣
平成26年12月17日
財務大臣 外務大臣
農林水産大臣
経済再生担当大臣

提出先

内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣

平成26年12月17日
財務大臣 外務大臣
農林水産大臣
経済再生担当大臣

1 地域の振興や農業の多面的機能の発揮について
農協法の目的に位置付け、事業目的の見直しは協同組合の基本的性格を維持すること。

2 准組合員は農業や地域経済の発展をともに支えるパートナーであり、人口減少への対応
政府は農協改革にかける法案づくり等により、JAグループの自己改革をふまえ、次の事項を反映させること。

意見書・前文略

請願者

JA庄内たがわ・JAあまらめ

3 JA・連合会の協同組合としての事業・組織を制約する一方的な事業方式・ガバナンス制度や法人形態の転換等は強制しないこと。

4 自立したJAの自由な意思にもとづき生まれ変わる新たな中央会は、代表、総合調整、経営相談・監査の機能を十全に発揮できるように、農協法上に位置づけること。



農協は地域経済に不可欠

議案 着々と 余目保育園民営化



すこやかに・元気に親の願いで

財産無償譲渡を決めました

関係者の不安解消を図る すべて譲渡か 管理責任は

有償譲渡も含めて検討した結果、備品や園内の植栽・花だん、保護者の記念品・寄贈品等も含め、すべて無償譲渡となりました。

管理責任は

建物の解体やそれに伴う費用を含め、管理責任については、社会福祉法人和心に移ります。

余目保育園の財産を無償譲渡する理由

平成27年4月1日から余目保育園の運営を社会福祉法人和心に移します。

運営する条件は、概ね3年以内に定員を増加して新園舎を建て替えます。新園舎の建て替えまでは、保育環境が大幅に変わりません。現園舎の建物や備品類は、町から譲渡しての運営と考えます。

無償譲渡する理由は、社会福祉法人で民営化を想定しての資金を備えてなかったからです。初期投資を抑え、民間活力を活用した質の高い保育事業を展開します。

賛成14・反対1で可決

あらまし

12月定例会は、12月9日から17日までの9日間の日程で開催しました。一般会計(1億3千87万円)、各特別会計の補正予算、条例改正、請願などを原案どおり可決しました。

補正予算

新産業創造館 有機EL設置182万円

場所の選定は

6次産業化工房ではオリジナル特産品を試作・製造しています。商品PRを充実させ、

各種商品の販売につなごう。そこで、県の有機EL照明導入に対する補助制度を活用します。内容は、クラッセB棟(6次産業化工房内)に設置予定です。事業費は、約182万円で補助率1-2、上限額125万円を活用します。

全員賛成で可決



販売促進につながるか

※有機EL照明 特定の有機物に電圧をかけます。すると有機物自体が発光する現象が起きます。その現象を利用した照明です。

ざっくばらんに

語り合う

第6回
町民と語る会

質問55件、意見8件、要望5件、総数68件 6割の方が発言！

町民に開かれた議会および町民参加の推進を目指し、10月23日から27日にかけて開催しました。7会場で119人の参加がありました。なお、5月開催予定が議員選挙などでこの時期となりました。

1 議会に対する主な質問等

どうなる 議員報酬

質問 報酬を上げてもいいと思っているが、議員報酬はどうなっているのか。

回答 議会は、決定権がないので町長からの回答を待っている状態である。(その後の経緯はP7)

どうなった 夜間議会

質問 議員は、報酬を上げないで、無報酬でも町民のために頑張ってもらいたい。

回答 無報酬の考えはない。議員報酬の改定は、次の世代の議員が議会活動に専念できる環境をつくる第1歩と考えている。

必要か ネット配信

質問 議員は、団体の代表にならないとやっているが、弊害はないのか。

質問 議会中継へのアクセスは、どの様な人がしているのか。65歳以上の高齢者がネット経由で見ているとは考えにくい。ネット配信は必要なのではないか。

回答 町から補助金等を受けている場合は矛盾する。代表に就任しないよう努めるもので他の役職は妨げるものではない。
回答 アクセス者の詳細は把握していない。ネット配信は議会内容を見ることができ、有効だと考えている。ネットを利用していない方には、議会広報紙を充実させることで対応している。

2 行政全般に対する主な質問

町の借金はどの位

質問 合併特例債の金額はどれ位か。また、本町の実質的な借金はいくらになるのか。

回答 町債残高は14億5千700万円である。その内、合併特例債は18億5千600万円である。実質的な借金は概ね50億円程度となっている。

どうなるの 小学校統廃合

質問 来年度で合併特例債がなくなると聞いているがどうか。

回答 合併特例債は5年延長される。
質問 借入返済額が膨らんでいるが、将来の子ども達への負担は大丈夫か。

質問 来年度で合併特例債がなくなると聞いているがどうか。
回答 合併特例債は5年延長される。
質問 清川小学校の解体は清川地区振興協議会と議会と話し合いをしてきたが、老朽化が進み心配している。町の考えはどうか。
回答 来年度から国の有利な起債を活用するために、施設の管理計画の作成が必要であり、来年度の予算計上に向け計画を策定中である。

橋山公園の 伐採は

質問 町長は、観光に力を入れていくと聞いている。その一環として狩川城址公園の整備も計画されている。2つの東屋のところの雑木を伐採し、庄内平野を一望できるように整備すべきではないか。

回答 東屋の付近の雑木の伐採については、私有地であるため今後の検討になる。

どうなる 道の駅

質問 風車市場の道の駅構想の進捗状況は。

回答 国土交通省とも話し合いをしているが、認可のハードルが高くなっている。「がんばる風車市場」道の駅の会を立ち上げている。

空き家問題は 大

質問 空き家に関する条例が実効性のある機能を果たしているのか。

政務活動費 について

質問 議会概要で説明のあった常任委員会視察調査費・政務活動費について説明してほしい。

回答 政務活動費は支給されていない。常任委員会の研修視察する費用として、任期4年間で一人50万円が予算化されている。

意見 地方創生に 取り組み

国で地方創生の議論が高まっている。議会でもこの動きに同調して、プロジェクトを立ち上げるなど、行政に提案して欲しい。

その他

質問 風車市場は、ラーメン屋に来る大型自動車の駐車場となっている。あの場所について議会で議論したことがあるのか。

回答 消防署の建設の時に議論した経過があるが、契約で地代をいただいているため現状のままとなっている。

企業誘致 大胆に進めて

質問 空き家は全国的な問題である。常任委員会では調査事件として取り組み、年度内に報告書を取りまとめる。

質問 若い人が地元に戻ってこないのは、働く場がないからである。企業誘致について用地の無償提供など、大胆な取り組みをすべきではないか。

米価下落への 対策は

回答 企業誘致の促進については、税制面の優遇措置や奨励措置を行っている。
質問 「ナラシ対策」で米価下落の補填をしようとしているが、農家はすぐにでも資金が必要であるがどうか。

回答 山形県町村議長会として、ナラシ対策を前倒しで支給する等、要望書を国に提出している。



危険空き家 このままでいいか？



議会 HP リニューアルしたネット配信(H26.12)

報酬議論にピリオドを打つ



社会情勢を見据え 議会みずから判断

平成26年12月16日全員協議会において、町長から議員報酬等に関する有識者懇話会の結果が報告された。
その結果を受けて、町長は今年度「特別職報酬等審議会」への諮問は行わないと議会に報告した。

有識者懇話会の結論を尊重

これまでの動向

- ・議会は、定数等調査特別委員会を平成24年12月設置した。
- ・平成25年9月定例会において、議員定数削減・議員報酬増額を報告書として提出した。
- ・町長は「ボランティア議員」による、夜間休日議会構想を提案した。
- ・議会は、町議会選挙前に「特別職報酬等審議会」を開催し、結論を出すよう求めたが、町長からの回答はなかった。
- ・町長は、団体や町民の皆さんから、意見を聴取しその意向を尊重したいとしていた。

有識者懇話会の意見

- ・町長は平成26年10月16日、有識者懇話会を開催し意見を求めた結果、大多数は現状維持であった。
- ・主な意見
 - ・他市町村との比較ではなく、庄内町の財政を勘案して決定すべきである。
 - ・議員は町発展の奉仕者である。議員が改定を要望するのはいかか。
 - ・県内一の活動日数は報酬の増額に関係しない。
 - ・県平均まで増額してもよい。

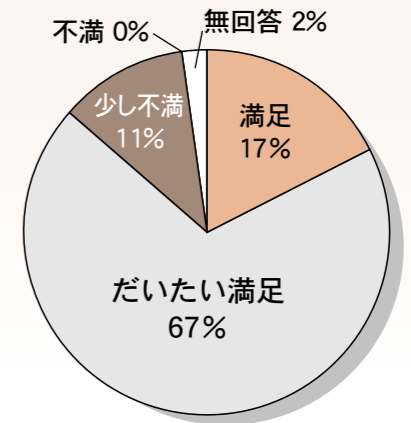
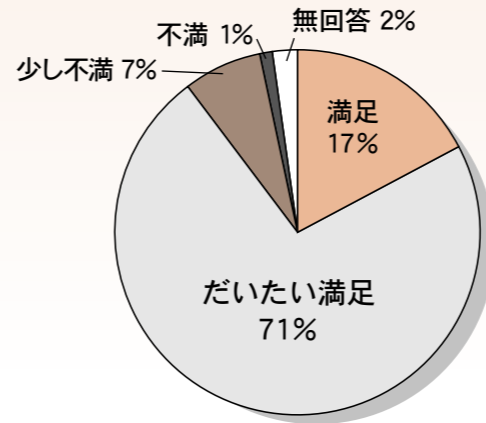
町長の判断

議会提案の、議員報酬改訂に関する報告を精査した。
人口減少で財政運営

意見交換の内容

内容充実約9割がほぼ満足

語る会参加者アンケート集約結果



参加者が少ない、住民の声が大事など多くの貴重な意見

一 良かった点

- ・ざつくばらんに話し合いができた。
- ・初めての参加、いいことを聞いた。

二 要望事項

- ・時期を前年と同じ暖かい頃にしてほしい。
- ・出席者を多くするよう検討して下さい。
- ・行政区長がもっと参加して意見を出すような場にしてほしい。
- ・集落におろした座談会を希望する。

三 意見

- ・こういう会は必要です。
- ・参加者が少ない。区長会などで参加を呼びかけたが関心がなく残念でした。
- ・議会の細かな説明は必要がない。
- ・議員たちの発想力、



参加して議会活動に理解を

四 その他

- ・アイディアが見られず残念である。
- ・議員報酬は生活を保障すべき。若者の議員に対する関心・意欲が生まれてくる。
- ・参加者をどう増やすか。議員側の意欲だけでは大変、住民の意見も取り入れるなど一考を要する。
- ・もう少し時間があればいいと思う。
- ・高齢化時代に合った町づくりはむずかしいと思うが、しっかりとやって下さい。
- ・初めての語る会、どう質問すれば良いのか参考になった。

アンケート提出者状況(100人)

性別	男性 78			女性 2		無 20	
	20歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
年代別	20歳未満	0	20歳代	0			
	30歳代	0	40歳代	1			
	50歳代	6	60歳代	66			
	70歳以上	26	無回答	1			

会場別参加者の状況

会場	人数	(前年度)
余目第一公民館	21	(38)
余目第二公民館	23	(21)
余目第三公民館	23	(12)
余目第四公民館	7	(7)
狩川公民館	8	(6)
清川公民館	24	(26)
立谷沢公民館	13	(11)
合計	119	(121)

報告書全文は各公民館に配置しています。なお、議会ホームページでも御覧いただけます。

議会の見解

議会の参考人意見と町の有識者懇話会の意見の差は大きい。
全国的には、経済は回復基調ではあるが、今年度は米価下落等により、地方では農家や地元企業が厳しい現況下にある。
社会情勢や近隣議会の実態も勘案する必要もある事は理解したい。これらを踏まえ、議員報酬改定についてはピリオドを打つことにした。

町政を問う



初「高校生・大学生議会」町に提言（庄総高生・公益大生）12月7日開催

12月定例会一般質問

12月11日、12日、16日の3日間にわたり、13人の議員が32項目について質問しました。質問は、行政全般にわたり町当局に対して事務の執行状況、将来における政策指針等を質し政策提言をする内容です。

13人の提言

一般質問 全項目です

- | | |
|---|---|
| <p>●庄内総合高校の支援について
○職員研修について</p> <p>●地産地消と6次産業の活性化について
○日本一の子育て支援について</p> <p>●旧立谷沢小学校の活用について
○子育て応援大使(子育て応援キャラクター)について</p> <p>●男女共同参画社会の推進について</p> <p>●地方創生について
○榎山公園整備について</p> <p>○風車市場「道の駅」化について
○農業振興について</p> <p>●課税誤りについて
○災害時要援護者登録台帳について</p> <p>○資源物の分別について
○国民健康保険について</p> <p>●中心市街地の活性化について
○行政の機構改革について</p> <p>●体育施設の指定管理について
○今後の資料館運営について</p> <p>○保育園の民営化について</p> <p>●農業振興と施策について</p> <p>●小学生の通学路の安全確保について
○新産業創造館「クラッセ」の運営について</p> <p>○中心市街地まちづくり協議会の支援について
○町湯の安全管理体制について</p> <p>●庄内総合高校への支援と存続運動について
○遠隔地単身勤務者・赴任者家庭に対する支援について</p> <p>○公用車への車載カメラの装備について</p> <p>●手話の普及と町の支援策について</p> <p>●新産業創造館クラッセの入札について
○滞納徴収について</p> <p>○小児性肺炎球菌ワクチンについて</p> | <p>●庄内総合高校の支援について</p> <p>●旧立谷沢小学校の活用について</p> <p>●男女共同参画社会の推進について</p> <p>●地方創生について</p> <p>○風車市場「道の駅」化について</p> <p>○農業振興について</p> <p>●課税誤りについて</p> <p>○災害時要援護者登録台帳について</p> <p>○資源物の分別について</p> <p>○国民健康保険について</p> <p>●中心市街地の活性化について</p> <p>○行政の機構改革について</p> <p>●体育施設の指定管理について</p> <p>○今後の資料館運営について</p> <p>○保育園の民営化について</p> <p>●農業振興と施策について</p> <p>●小学生の通学路の安全確保について</p> <p>○新産業創造館「クラッセ」の運営について</p> <p>○中心市街地まちづくり協議会の支援について</p> <p>○町湯の安全管理体制について</p> <p>●庄内総合高校への支援と存続運動について</p> <p>○遠隔地単身勤務者・赴任者家庭に対する支援について</p> <p>○公用車への車載カメラの装備について</p> <p>●手話の普及と町の支援策について</p> <p>●新産業創造館クラッセの入札について</p> <p>○滞納徴収について</p> <p>○小児性肺炎球菌ワクチンについて</p> |
|---|---|

●項目の概略を以下9ページから15ページに掲載しています。

庄内総合高校

支援策を具体化せよ

町長

状況を確認し検討したい



国分 浩実 議員

問 支援同盟会、同窓会を中心にさまざまな庄内総合高校存続支援活動をしてきた。いまだ町としての支援策が見えていないか。

町長 ふるさと応援寄附金を活用していくかは、使い方をしっかり検討し対応したい。入学支援については町では何らかの手は打たなければならぬと考えている。人材育成の観点で、育英資金制

度の見直しを内部的に検討している。

町長

入学後の資格取得支援と云う形も考えられるのではないか。

町長 庄内総合高校の資格試験の取り組み状況を確認しながら、具体的に検討したい。

クラッセ

商品開発の環境整備せよ

町長

検討し機運を盛り上げたい



押切のり子 議員

問 クラッセの賑わいを継続するには、6次産業化工房の利活用が重要である。利用者からは、整備されている備品が大きすぎ、利用しづらいとの声が多い。

町長 クラッセの賑わいを継続するには、6次産業化工房の利活用が重要である。利用者からは、整備されている備品が大きすぎ、利用しづらいとの声が多い。また、商品開発のための相談や指導をする専門員の配置もない。試作品を作る工程への思いが、抜け落ちていないのではないかと。全体の利用者を取りまとめる機会を設け、実際に足りないも

町長

共同利用加工場で商品化した特産品は、施設内販売を義務付け、専門のコーナーを設ける等、差別化しPR販売をすべきでないか。

町長 商品のPRは、マスコミ対応も含めて、コーナーを設置し機運を盛り上げていきたい。

白鷹町では、荒砥高校への入学支援が既に6年目となる。遊佐町でも、27年度から遊佐高校への入学支援を行うことを決めた。いずれも「ふるさと応援寄附金」を財源の一部とすることから、本町でも同様の支援ができないのか。



入学者増で駅のにぎわい復活

町長 全体の利用者を取りまとめる機会を設け、実際に足りないも



最新鋭の機器で四苦八苦

ここが聞きたい

国分浩実議員・押切のり子議員

旧立谷沢小学校

保管庫として活用せよ

教委長

検討を進めている



小林 清悟 議員

問

立谷沢小学校は、平成21年に閉校し町で管理している。築49年であり、外回りがずいぶん傷んで耐震強度が心配されるため、現状では一般の人が出入りする活用はしにくい。しかし、校舎は部屋が区切られており、資料や文化財を年代別や、内容別に区分けして保管でき、倉庫や保管庫であれば活用できるのではないか。

教委長

旧狩川小学校と十六合公民館



もったいない、倉庫で活用（旧立谷沢小学校）

問

体育館は、耐震補強を行い床を撤去し内部を整地し

教委長

立谷沢体育館の活用状況をみると、もう一つ体育館をつくらなければならぬ状況にはない。また、土砂災害の警戒区域に入っている施設でもあり、人が多く集まる施設を設けるには、課題がある。

立谷沢体育館の活用状況をみると、もう一つ体育館をつくらなければならぬ状況にはない。また、土砂災害の警戒区域に入っている施設でもあり、人が多く集まる施設を設けるには、課題がある。

人材育成

女性模擬議会を開け

町長

幅を広げて考えたい



上野 幸美 議員

問

※1第2次庄内町男女共同参画社会計画への推進委員会からの答申がある。内容は、事業の検証で具体性に欠けている。どう受け止め※2「第2次総合計画」に反映させるのか。

問

※3女性講座「椿せみな一」の継続は、公募委員の参画につながっている。先の「高校生・大学生議会」は、発想が新鮮で若者の人材育成につながっていた。男女共

度で考えている。

町長

高校生・大学生議会は、来年度以降も行いたいと思っている。女性の模擬議会を、別個に実施する必要はあるか、少し幅を広げるといふ観点も含めて考える。



女性の視点で発信（長野県軽井沢町）

※1 第2次庄内町男女共同参画社会計画 平成24年度から28年度までの男女が社会の対等な構成員として携わり、活躍できる社会への推進計画。
※2 第2次総合計画 平成28年度から38年度までの自治体すべての計画の基本・行政運営の総合的な指針的計画。
※3 女性講座「椿せみな一」 平成24年度からスタートし女性研鑽の場として受講者を募り開催している講座。

地方創生

人口減少歯止めせよ

町長

徹底してやっていく



齋藤 秀紀 議員

問

地方創生法に変え、人口減少の歯止めを図ること。町の将来人口（歯止めとなる目標値）を町長が位置付けられないか。例えば、「20年後1万8千人を最低人口」にすると政策が見える。現状の政策では、達成力が弱く、最終的に努力はしていることになる。

少子化・若者世代の雇用・婚活の課題に将来人口は欠かせない。数字的に達成するには、何をすればいいか明確

になる。具体的な事業を総合計画に盛り込むべきである。

町長

平成26年、町の人口は2万2千人余りだが、日本創生会議からは、2040年には1万4千人になるという数字が出ている。

庄内地方全体として、仕事の創出、雇用の確保が地方創生の大きな要になると見ている。総合計画の目標人口は、県の目標設定も考慮しながら具体的に定める。何をしなければならぬかは、本町の場合これまで同様、国の地方創生の考え方とイコールなので、徹底してやっていく。



この子供たちの未来のために何ができるか

課税誤り

まずは、謝罪せよ

町長

ホームページにお詫びしている



工藤 範子 議員

問

県内のほとんどの市町村で、源泉所得税等の徴収漏れがある。本町の「税」の誤りは3年続けてであり、町民は怒っている。源泉所得税等、町が延滞税等を含め納付した金額と、対象となった件数・主な職種は何か。

町長

源泉所得税と復興特別所得税の徴収漏れは、165件の約794万円で、対象者が91人である。個別に謝罪および納付協力依頼書、源泉徴収票等を

持参し、納付の協力をお願いしている。建築士等の個人事業主が主な対象者である。

町長

還付加算金の支払い不足には、ホームページでお詫びと説明を記載している。対象者には、個別のお詫び文書と、還付口座の照会文書を出させていたが、

問

ネット配信には謝罪文もない。「今後の対応でなお町税等に未納がある方につきましては、

充当させていただきます」と記載がある。税を納める立場にたっていない。誤りを謝罪してお願ひするのが常識ではないか。



あつてはならない徴収漏れ

イグゼあまるめ

町長

役割を明確にせよ
町民要望にも応えている



鎌田 準一 議員

問

想は、旧余目町時代に、※1「中心市街地活性化法」の要として策定された。しかし町村合併という大きな波間にその役目を終えようとしている。「クラッセ」「町湯」が内外の注目を浴びている。中心市街地への波及効果をどのように誘導していくのか。

問

イグゼあまるめの役割は、単

を図ってきた。今年度は、「クラッセ」や「ギヤラリー温泉町湯」を目的地として建設している。ひいては中心市街地の活性化に繋がると考えている。

町長

イグゼあまるめは、町も出資している第3セクターである。中心市街地活性化の事業を進める場合には、提言や意見をいただいている。収益事業だけでなく、町民要望に応えたプール事業も取り組んでいる。



活性化の起爆剤となるか（10/27 町湯オープン）

体育施設

教委長

受け入れ先を示せ
コメつち*わくわくクラブが受託する



石川 武利 議員

問

本町では、平成19年3月に「指定管理者制度導入に関するガイドライン」を策定している。施設別移行計画のなか、体育施設は体育団体に指定管理者制度の導入とあった。その後、平成24年度に一度見直しを図る。平成25年度からおおむね5年をめぐりに移行するとあった。今後の進め方、考え方を以下3点について伺いたい。

教委長

ガイドラインによる施設別移行計画では、21の体育施設を指定管理者として体育団体に委託するとしていた。

その後の体育協会理事会の検討で、総合型スポーツクラブ「コメつち*わくわくクラブ」が指定管理者を受託する方向で確認された。

7月に同クラブ理事会で、受託する方向で町当局と検討協議に入る機関決定をされ、対象施設を含めて事前協議に入っている。



コメつち受託でステップアップ

農業振興

町長

方向性を示せ
ブランド化・循環型を強く支援する



村上 順一 議員

問

農業産出額統計は、農業施策や振興計画策定の基礎となる資料だ。この資料が、平成19年度以降作成していないのはなぜか。

問

農政調査委員会は、指標を参考に農産産額を算出している。また、分析を行い主要な個別品目の位置付けもしている。このことから、農業構造、動向の確かな把握の重要性が分かる。6次産業化や複合経営への転換による雇

町長

庄内町ブランドの確立には、環境保全型農業の取り組みが功を奏してきた。ブランド化や循環型には、畜産振興が欠かすことができない。また、国・県の研究室等との連携が大事であり、情報をしっかりと認識しながら頑張りたい。



ブランド確立で売れる商品化へ

スクールバス

教委長

安全を最優先にせよ
通学路安全対策協議会で協議



五十嵐啓一 議員

問

全国的に、小学生の登校班の列に車が突っこみ、痛ましい事故があった。これを踏まえて本町でも、教育委員会、小学校、各団体が協議を重ねこの問題に取り組んでいる。

問

近江新田地区は、交通量の増加により危険な状況のなか、子どもたちが通学している。

教委長

近江新田地区の広域農道の状況は、教育委員会でも認識している。現在、学校が主体となって集落、PTAと話し合いを行っている。その結果を待って、4月に向け結論を出したい。



看板も警告 危険な通学路

庄内総合高校 「存続・支援推進する会」 設立せよ



澁谷 勇悦 議員

町長 支援窓口は設置する

問 町長は「庄内総合高校は必要不可欠、県の存続条件を上回ることを考える」としている。支援策は、「寄宿舎整備、美術工芸学科、公益大学連携、体操体育館整備」などを検討している。これら以外の支援策の要望も町民から出ている。

これらを含め、総合かつ計画的に推進し、存続を実現するために、庁内に「存続・支援推進する会」的な組織を立ち上げるべきでないか。

町長

副町長を先頭に、各課から機構の改革案を出して、機構改革の取りまとめを進めている。庄内総合高校を支援する窓口は、来年度から置くと考えている。

個人の負担をどれだけ軽減できるかは、先



庄総高生の若い力に期待

の高校生・大学生議会で通学費への支援が出された。また、具体的な支援策も来年1年やってみて、効果を見ながら試行を考え、組み立てたい。

手話言語 基本条例制定せよ



齋藤 健一 議員

町長 先進地事例を参考にしたい

問 平成23年8月に「障害者基本法」が改正され、手話の言語が認められた。本町でも手話の理解と普及を図るために、ろう者が手話を使い安心して暮らせ、共に生きる地域社会を目指すべきである。そのためには、**※2**手話言語基本条例を制定し、町の責務、市民の役割を明確化するべきでないか。手話で対応できる職員の配置、通院者等への通訳派遣、手話講習会など、施策の推進と財政

措置、ろう者が対等な社会参加できる環境を構築すべきである。

町長

条例の制定は現在考えていないが、条例を制定している自治体もある。また、9月議会において、手話言語法制定を求め、意見書を提出している。



皆んなに知って欲しい「↑耳マーク」(総合窓口)

る。それらの今後の推移を見ていきたい。ろう者に対する町の窓口対応は「耳マーク」を設置し筆談に対応している。また、手話の奉仕員や要約筆記者を派遣する事業も実施している。ろう者だけでなく、障がい者に優しい町を見据えた仕事をしなければならぬ。

募集 議会広報モニター

広報委員会では、議会広報の編集にあたり、専門的な言葉や複雑な制度等、分かりやすい内容を心掛けています。モニター募集は、町民の方からの参加を求め、読者目線でチェックをお願いします。

- ◆ 募集人数 若干名
- ◆ 募集作業日数 (庄内町在住の方) 年間4回発行 1回発行ごと1〜2回自宅に「ガラ刷り」をお届けします。
- ◆ 報酬 ボランティア(無報酬)
- ◆ 応募先 庄内町議会事務局まで 0234(42)0189

お詫びと訂正

平成26年9月定例会号(第42号)に誤りがありました。P5特別会計の農業集落排水事業2億5千375万円が正確な金額です。

特別会計	金額
国民健康保険	25億2千111万円
介護保険	2億3千754万円
国民健康保険	7億7千750万円
農業集落排水事業	2億5千375万円
下水道事業	252,709,293万円
ガス事業	3億

議会中継・録画映像をご覧ください

一般質問の情報は、庄内町議会ホームページで見ることが出来ます。今回から、中継システムの更新で、スマートフォンやタブレットパソコンでも議会中継・録画映像が視聴できます。ホームページバナー(矢印)をクリックしてご覧ください。



ここをクリック

● P16下段の写真は、立谷沢和太鼓クラブの皆さんです。以上2カ所訂正してお詫びいたします。



クラスセ入札 公平、公正を心がけよ



小野 一晴 議員

町長 当然と考え引き締める

問 クラッセの入札において、設備品の多くが指定品の入札であった。

このような極めて異例な入札の結果98・9%の高落札率となった。落札業者にしても選択の余地が無い分、利益は少なかつたはずである。どう統括しているのか。

町長 クラッセの入札は、125品目の内、56品目を指定品として取り扱った。指定した理由としては、6次産業化推進戦略会議

町長

入札前に町外担当者に関連する業者

で、アドバイザーの助言により規模、性能、使い方を決定した。また、整備後の管理運営、利用者の利便性を考慮し、施設利用の効果を最大限引き出す一部指定品を設定した。

町長

が打ち合わせをしているようだ。このような行動は、あらぬ疑いを持たれる。公の仕事をする際は、透明性、公平公正を確保するように心がけるべきである。町内業者6社を選定し、公平・公正な入札が実施されたと考えている。公平・公正にしっかりと考えを引き締めるようにしていきたい。



指定品の入札が多い(クラスセ工房)

※1 障害者基本法 障がい者の自立および社会参加の支援等のため基本的理念を定めたもの。
※2 手話言語基本条例 手話言語の認識に基づき、理解と広がりを進めていくもの。

より良い町づくりのための

視察 Report



— 議会閉会中の平成26年10月に視察しました —

テーマ 空き家等の適正管理について

課題：(1) 現行条例の問題点
(2) 国の事業を活用した対応の可能性
(3) 空き地の適正管理
視察地：秋田県大仙市 新潟県見附市
福井県越前町 東京都墨田区 国交省

産業建設 常任委員会



代執行を宣言

背景
・近隣住民からの相談や苦情が増加した。
・大雪などによる倒壊が懸念された。
取り組み
・市では「※1代執行」を盛り込み条例制定平成24年3月5日全国初の代執行を行った。
・費用を一時支出、後に当事者に請求。
・解体補助金制度(50万円限度)を定めている。
・空き家マップの作成

秋田県 大仙市

テーマ 健康寿命の延伸について

課題：(1) 地域を巻き込んだボランティア(健康づくり・介護予防)
(2) 中長期的展望に立った保健・食育・社会教育分野と連携した健康づくりへの取り組み
(3) 県との連携(健康マイレージ事業)
視察地：静岡県森町 愛知県庁 埼玉県坂戸市

総務文教厚生 常任委員会

報告内容
県と協働の「森町健康マイレージ事業」は健康行事、地域活動、イベントなどにも付与。更に商店の協力により地域活性化まで見通し、総合的な取り組みを展開している。
事業の内容
活動に参加↓元気もりもポイントを貯める↓ポイント参加店などで各種サービスを受ける
主な施策
「介護支援ボランティア育成支援」
「子育て支援」
(主に健康な65歳以上の元気な方を対象)

静岡県 森町

施策の主体
「保健福祉課」
「地域包括支援センター」

背景
近年、豪雪による空き家の危険度が顕在化し住民の苦情件数が増大。
取り組み
「固定資産税等の減免に関する要綱(全

新潟県 見附市



解体され小学校見えた

公費負担は住民の理解



解体中

背景
住宅密集地域から発生した2度におよぶ大火が引き金となる。
取り組み
・特に条例を定めず自主財源と国の「空き家再生等推進事業(除却タイプ)」活用などで成果を上げている。
・除却した跡地を利用し「ポケットパーク事業」を行っている。跡地を公園とし、整備管理は地域で行っている。

福井県 越前町



所有者不明の危険空き家

調査目的
「空家等対策の推進に関する特別措置法案(議員立法)」の審議状況を含め詳細について調査。11月に衆議院で正式に成立。

国土交通省

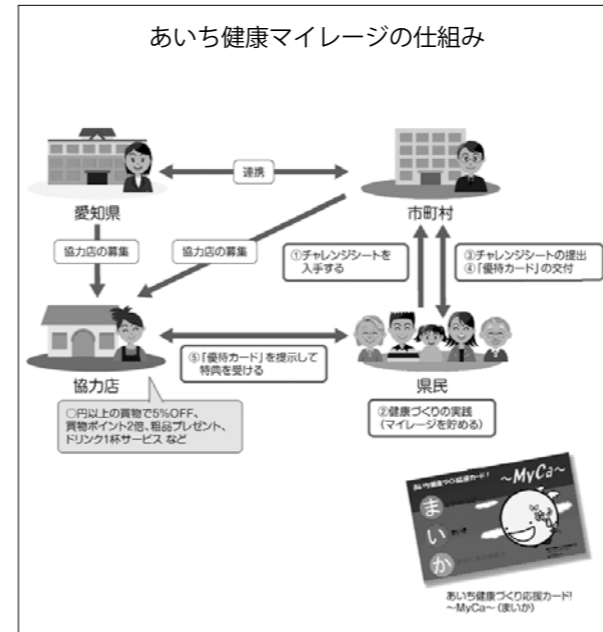
※1 代執行 持ち主に代わり行政が、危険な空き家を除却すること。
※2 老朽危険空き家等審査会運営要綱 老朽化による危険度合いを審査する機関が定めた規則。



跡地は公園に活用

東京都 墨田区

こんにちは庄内町議会です



あいち健康プラザの事業
・健康教育事業
視察した理由
健康寿命
男性 1位
女性 3位
(平成24年7月全国統計)
報告内容
健康寿命延伸に近道はなく、行政・保健福祉・建設・教育・商工等が密接に関係し総合的な取り組みを行っている。
健康評価や健康づくり教室
・健康づくりリーダー養成
・啓発活動
・あいち健康マイレージ事業

愛知県庁

施策の拠点
「あいち健康の森」
健康づくり・医療・福祉等の施設が集積

内容
※2 葉酸 緑黄色野菜、緑茶、のり、レバーなどビタミン群の一種。
① 葉酸プロジェクト推進事業
・食育プログラム(各団体との連携)
・体験型食育
・商店連携・加工食品考案
・ブランド食品周知活動
② 食育推進事業
・健康づくり地域寺子屋事業
・運動リーダー養成ゼミナール
・市民みんなの健康づくりサポーター
③ 地域健康づくり支援事業
保健分野のみならず「地域づくり」「人と人の絆」を大切にした健康づくりを柱に取り組んでいる。

埼玉県 坂戸市

将来を背負う子どもたち

議会傍聴で成長

庄内町議会見学ありがとうございました

庄内町立立川小学校 6年 名前 海藤 千夏

今日は議会見学をさせていただきありがとうございました。私はテレビで議会の話し合いをしかただけ見たことがあります。議員さんたちが積極的に意見を言っているところを見て、委員会や授業に生かしていきたいと思いました。難しい話でしたが、町をよくするため、一生懸命話し合っていることが分かりました。これからもよろしくお願いします。良い経験になりました。



写真提供：みしまフォトスタジオ



庄内町議会見学ありがとうございました

庄内町立立川小学校 6年 名前 松浦 悠音

今日は、議事堂での見学をさせていただき本当にありがとうございました。目の前で行なわれている議会はとても勉強になりました。僕はあまり議会の中身のことは見たことがなかったけれど、今日の議会を見て、関心がおきました。という訳で12才の子供が政治の事に口出しするのオマレですが、庄内総合高校を卒業させるにはコストはかかるけども、中高一貫校にするのがいいのではないかと思います。今日は本当にありがとうございました。



庄内町議会見学ありがとうございました

庄内町立立川小学校 6年 名前 土門 海音

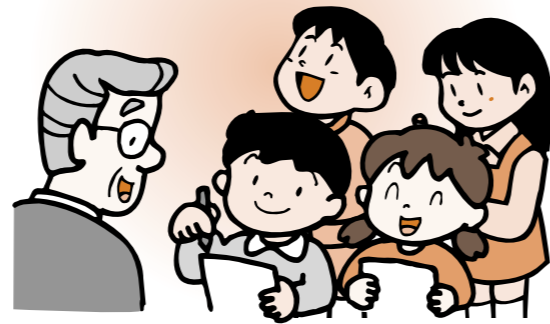
私は、議会というものを全く知らなくとてドキドキしました。議事堂に入って未だ議員の方の顔つきがとても真剣な表情だったので私もしかり聞いて自分も考えようという気持ちになりました。庄内総合高校の支援活動の事について、通学費の差がすごい事にびっくりしました。日常的な事が仕事の中にも出てきて、またそれがお客さんにどんな印象をあたえるか深く考える事が出来ました。今日聞いた事を将来に生かしたいです。



庄内町議会見学ありがとうございました

庄内町立立川小学校 6年 名前 本間 伴季

今日、初めての議会見学は、とても興味深い話を聞いていました。始めは何を話しているか分からなかったけど話を聞いていくうちに、とても興味がおいていきました。みなさんとても真剣な顔をしていて、すごいなと思いました。僕は、始めに出た高校の件で僕が19才になったら余校をなくして、鶴岡や酒田に1校の高校を建てた方が良く僕は思いますが、今日の議会見学に参加して本当にありがとうございました。



こんにちは庄内町議会です

庄内町議会見学ありがとうございました

庄内町立立川小学校 6年 名前 宇田 竜健

ぼくは庄内町議事堂へ行ってすごいと思ったことたくさんあります特に大きな声では、もりもりと発言してすごいと思いましたぼくも腹から声を出して授業の発表の時にまわってみたいですよすごいと思ったことがたくさんあります自分も発言してすごいと思いました庄内町のことを覚えていただきありがとうございます議会を見に行けてうれしかったです。



立川小学校6年生の皆さん 緊張感を持って議会見学

12月11日、立川小学校6年生の皆さんが授業の一環として12月定例会を見学しました。緊張感漂う雰囲気の中、議員と町当局の会議のやり取りを懸命にメモに取るなどし、真剣な顔にもほほえましい光景でした。学校に戻り、児童一人ひとりが学んだ事や感想を作文にして送っていただきます。大人顔負けの意見、提言もありましたので、その一部を原文のままご紹介いたします。